

IV—11

商業地域における駐車場利用意識に関するアンケート調査結果の解析

仙台市建設局 正員 ○ 阿部 栄輝
 東北大学工学部 正員 武山 泰

1 はじめに

近年、都市中心部における駐車問題は深刻な社会問題となり、その解決にむけ種々の調査・研究がなされている。本研究は、仙台市中心部（商業地域）における休日の駐車場利用者を対象に実施された、駐車場利用者意識調査データを解析することにより、その特性について報告するものである。

2 現況分析

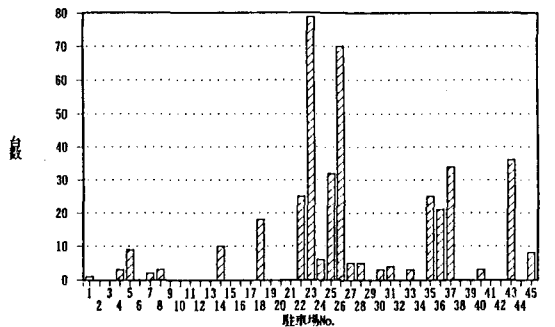
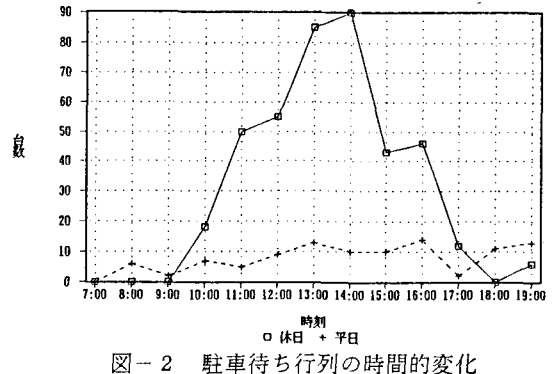
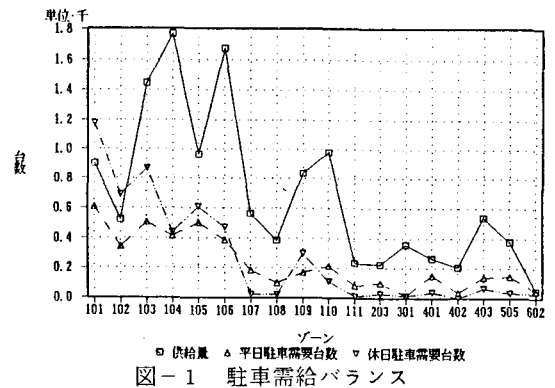
仙台市中心部における現況の駐車需給バランスを図-1に示す。平日では供給量が上まわり待ち時間なしで駐車場利用が可能だが、休日は仙台駅前地区（商業地域）でアンバランスが生じ、駐車待ちが発生、路上駐車密度が高くなっている。

図-2に駐車待ち行列台数の時間的変化を示す。これは、仙台駅前地区の45駐車場を対象に7:00から19:00までの12時間、1時間毎に駐車待ち行列台数を調査したものである。この結果、仙台駅前地区の休日における駐車待ち行列は9:00頃より発生、13:00、14:00頃がピークとなり18:00頃に解消している。また、平日と比較すると休日の待ち行列台数がかなり多くなっている。

図-3に駐車場別延べ待ち行列台数の状況を示す。駐車場別に延べ待ち行列台数を見ると、かなりバラツキがめだっている。特に待ち行列が多く発生している駐車場は、仙台駅に隣接する駐車場である。これらの駐車場は、デパート等の契約駐車場となっているものが多く、割引等のサービス、あるいは目的施設までの距離が近く利用が集中しているものである。

3 意識調査分析

商業地域における休日利用者の駐車目的は買い物・社交娯楽が全体の約80%を占めている。本分析では、この買い物・社交娯楽目的者にしぼり意識分析を試みた。図-4は駐車場の利用予定について示したものである。駐車場の利用予定は、クルージング（うろうろ交通）の発生に大きくかわってくるものである。駐車場を決めてきていない車両は、空き駐車場を探しながらの走行、路上駐車等交通流に少なからず影響を与えることとなる。分析の結果、休日における駐車場利



用者の62.7%は予定してきたと回答しているが、33.7%は決めてきていないと回答している。別駐車場を予定していた車両を含め 37.1%もの車両がクルージング及び路上駐車発生の原因となりうることがわかった。また、年齢別では、低年齢になるほど決めてきていない割合が高く、発地別では、遠距離になるほど決めてきていない割合が高くなっている。特に県外からの利用者の決めてきていない割合がかなり高くなっている。

図-5 は駐車場を利用した理由について示したものである。図-3 に示したように特定の駐車場に利用者が集中する傾向が見ることから、駐車場を利用した理由について分析を行った。休日利用者が利用した一番の理由は「目的施設までの距離が短い」ことで全体の 29.5%となっている。次いで「目についた」8.7%、「割引がある」6.2%の順となっている。また、県内・県外と遠距離からの利用者になるほど駐車場の位置等の情報が不足しているため「目についた」「道が分かりやすい」と回答している割合が高く、また、市内の利用者は「割引がある」の割合が比較的高くなっている。

図-6 は提供を受けたい駐車場情報について示したものである。駐車場利用者がその利用に際し、どのような駐車場情報を必要としているかを分析する。駐車場情報として最も必要と回答しているのは「駐車場の満空情報」で 27.2%となっており、次いで「待ち時間」11.7%、「駐車場の位置」10.4%の順となっている。また、発地別にみると、市内・県内・県外と遠距離になるほど、「駐車場の位置」と回答する割合が高くなっており、特に県外の場合は、「駐車場までの経路」「道路の混雑状況」と回答している割合も高くなっている。

5 むすび

意識調査分析の結果、休日の駐車場利用者は駐車場を決めてきていないことが多く、目についた空き駐車場へ駐車するというパターンが多い。これは、特に遠方より来ている利用者ほどその傾向が強い。駐車場利用の選定要素として、目的施設までの歩行距離が短い駐車場、割引がある駐車場等の利用率が高く、これらが中心部（商業地域）における、特定駐車場への集中による待ち行列、クルージング、路上駐車等の発生の要因となっていると考えられる。これらの問題解決のために、満空情報、駐車場位置、経路等適切な駐車場情報を利用者に提供し、統一料金、共通サービス等を導入することにより駐車場利用者を分散させることが必要である。駐車場案内システム、新料金システム等の研究・検討がなされてきているので、その導入に期待したい。なお、本研究で用いたアンケート調査は、仙台市駐車場整備計画策定委員会（委員長：須田 瀧 東北大学教授）により実施されたものである。

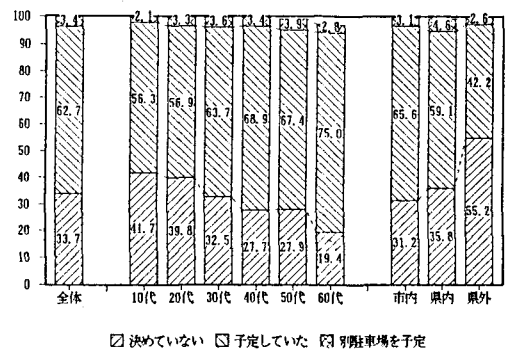


図-4 駐車場利用予定

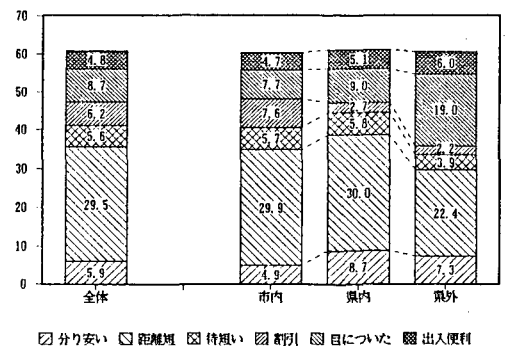


図-5 駐車場を利用した理由

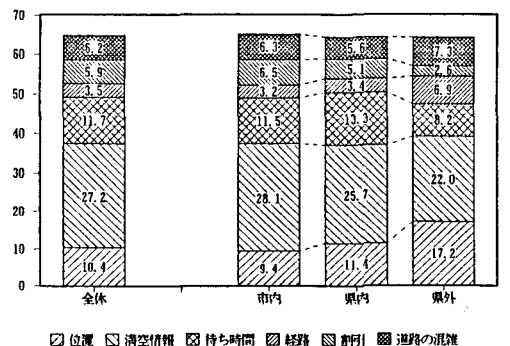


図-6 提供を受けたい駐車場情報